

《受賞関係》

●第1回生態学琵琶湖賞および日本海洋学会賞のダブル受賞 植物学教室の高橋正征助教授は、第1回生態学琵琶湖賞を3月27日に滋賀県庁において受賞された。本賞は滋賀県が地球規模での環境問題に対する取り組みの一環として創設されたもので、高橋助教授がその第1回受賞者となった。さらに日本海洋学会賞も受賞され、4月4日、大会総会後に受賞式と記念講演が行われた。いずれも海洋・湖沼における植物プランクトン群集に対する同氏の幅広かつ独創的な研究成果に対して与えられたものである。とくに多様な植物プランクトンの生理生態学的な特性に焦点をあて、その光合成による物質生産および生存に対する光、温度、栄養物質などの環境因子の影響を、モデル解析、リモートセンシングから生化学解析にいたる

多様な手法を用いて詳細に調べ、各種プランクトンの時間的、空間的住み分け現象の機構の解明や、海洋における生物による物質生産（CO₂ 固定）量の推定に大きく貢献したことが高く評価されたものである。加藤栄，4月6日（植物）

●尾崎教授 ADION medal 受賞 天文学教室の尾崎洋二教授は、恒星の振動と恒星をとりまく降着円盤の非線型振動などの研究に対し1991年度ADION medal を受賞した。同メダルはニース天文台が同天文台にゆかりの深い優れた天文学者に与えるものであるが、これまでの受賞者の顔ぶれをみると、Minnaert, Stromgren, Oort, Schwarzschild, Hoyle, Sadage 等の大物の名前が見られ、同メダルの受賞は尾崎教授の国際的評価の高さを表しており、共に喜ぶたい。内田豊，4月（天文）

